

国内旅行



小樽運河（北海道小樽市）

1. 国内旅行市場

■国内旅行市場規模

国内旅行とは、日本人および日本国内に居住する人が居住地から離れ日本国内の各地を訪れる旅行のことである。日本国内は基本的に制限なく誰もがどこへでも旅行することができる。ただし、北方領土や危険地域など許可なく立ち入りできない島嶼、地域が一部ある。

「旅行・観光消費動向調査」（観光庁）によると、図表3-1のように、日本人の国内旅行の延べ旅行者数（2018年）はおよそ5億6,000万人で、日本人ひとりが1年間に4回程度国内旅行をしたことになる。その内、宿泊旅行の延べ旅行者数は2億9千万人で、日帰り旅行の延べ旅行者数は2億7千万人であった。国内旅行は、景気動向、災害、天候などに影響され増減する。また、連休の数、大型イベントの開催、新幹線など新規交通手段の開業などにも大きく左右される。

国内旅行消費額（2018）は、国内宿泊旅行15.8兆円、国内日帰り旅行4.7兆円で国内旅行合計は20.5兆円になる。日本の旅行の国内旅行市場における旅行消費額シェアはおよそ8割で圧倒的な大きさである。

図表3-1 国内旅行の旅行者数と消費額の推移（2011-2018）

	国内旅行延べ旅行者数			国内旅行消費額		
	延べ旅行者数(万人)	国内宿泊旅行 延べ旅行者数(万人)	国内日帰り旅行 延べ旅行者数(万人)	消費額(億円)	国内宿泊旅行 消費額(億円)	国内日帰り旅行 消費額(億円)
2011	61,253	31,356	29,896	197,369	147,841	49,529
2012	61,275	31,555	29,720	194,208	149,710	44,498
2013	63,095	32,042	31,053	201,871	154,101	47,770
2014	59,522	29,734	29,788	184,204	138,909	45,295
2015	60,472	31,299	29,173	204,090	158,120	45,970
2016	64,108	32,586	31,542	209,547	160,335	49,212
2017	64,751	32,333	32,418	211,130	160,798	50,332
2018	56,178	29,105	27,073	204,834	158,040	46,794

出典：「旅行・観光消費動向調査（観光庁）」より

■国内宿泊旅行マーケットの構造

国内旅行は「宿泊旅行」と「日帰り旅行」とに区別することができる。市場規模が大きく、その特性や動向が把握可能な「宿泊旅行」に関する現状を

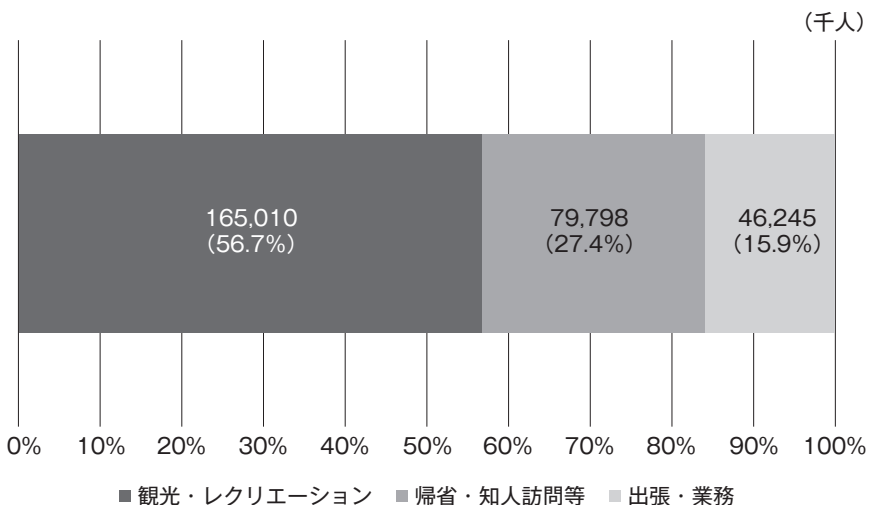
見ていく。

図表 3-2 は、国内宿泊旅行の延べ旅行者数の目的別のシェア、すなわち国内宿泊旅行のマーケット構造を表したものである。「観光・レクリエーション」の延べ旅行者数は約 1 億 6,500 万人で 5 割強と最も大きなシェアを占めていることが分かる。次いで、「帰省・知人訪問等」が 3 割弱と続いている。帰省旅行とは、帰省や郷里での冠婚葬祭への参加のための旅行のことである。この帰省旅行のボリュームが大きいのが国内宿泊旅行の特徴となる。

商談や会議、視察などの仕事のための旅行である「出張・業務」は 16% 程度となっている。

なお、国内旅行宿泊者数は 5 億 3,800 万人泊（2018 年、外国人宿泊数含む、観光庁『宿泊旅行統計調査報告』より）となっている。うち、外国人延べ宿泊者数は 9,428 万人泊で、毎年着実に増加している。

図表 3-2 国内宿泊旅行マーケットの構造 / 延べ旅行者数（2018）



出典：「旅行・観光消費動向調査（観光庁）」より

2. 国内旅行の特徴

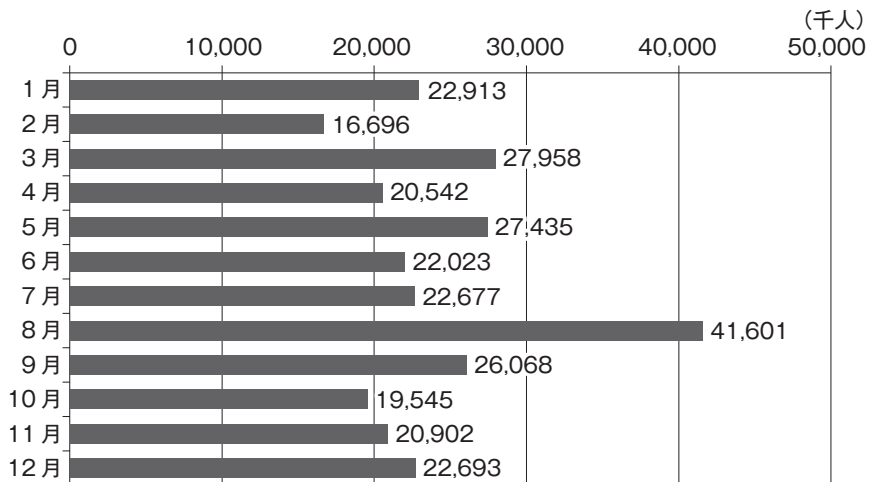
■国内宿泊旅行の出発時期

国内宿泊旅行は、四季が明確であり、休暇時期が限定的な日本においては季節、月、曜日により大きな変動がある。

旅行者数のボリュームにより、最も旅行者数が多い時期を「繁忙期」または「ピーク期」、少ない時期を「閑散期」または「オフ期」、その中間的な時期を「通常期」または「ショルダー期」と呼ぶ。

図表 3-3 は、出発月別の国内宿泊旅行の延べ旅行者を表したものである。月別にみると、夏休みの8月がピーク期となっている。これは小中学生が休みであり、長期休暇が取れやすい、帰省に伴う旅行も多いからである。夏休みの家族旅行、友人との旅行は定着し慣例化している。3月は春休み、卒業旅行や花見の旅行が集中する。5月は、行楽シーズンであるとともにゴールデンウィークの長期休暇によるものである。祝祭日の日並びにより旅行先や旅行日数が毎年変わる。9月は連休も多く、夏期の休暇取得をずらしこの時期に旅行する（レイトサマー：「遅い夏休み」の意）人が多い。

図表 3-3 国内宿泊旅行の出発月（2018）

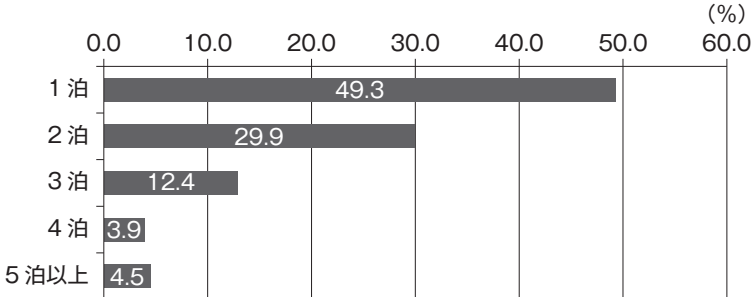


出典：「旅行年報 2019」公益財団法人日本交通公社 資料「旅行・観光消費動向調査（観光庁）」

■国内宿泊旅行の宿泊数

図表 3-4 は、国内宿泊旅行の宿泊数を表したものである。宿泊数では「1泊」が全体の5割を占め、「2泊」と合わせると8割弱となる。このように国内宿泊旅行は短期の旅行が中心であり、この傾向が長く続いている。日本の国内宿泊旅行の最大の特徴であるとともに、最大の課題である。

図表 3-4 国内宿泊旅行の宿泊数 (2018)

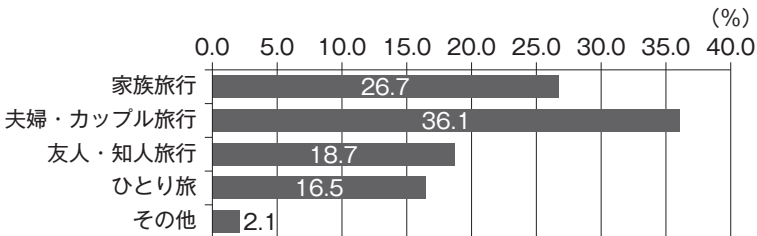


出典：『旅行年報 2019』公益財団法人日本交通公社 資料「JTBF 旅行実態調査」

■国内宿泊旅行の旅行同行者

図表 3-5 は、国内宿泊旅行の同行者を表したものである。夫婦・カップル旅行が最も多く 36% 程度となっている。その内訳は子育て後の夫婦が最も多い。次に多いのは家族旅行で、27% 程度で、その内訳をみると小中高生連れ家族旅行が多い。友人・知人旅行は 20% 弱で、未婚の男女が多い。ひとり旅は 17% 程度で、男性のひとり旅が多い。

図表 3-5 国内宿泊旅行の同行者 (2018)



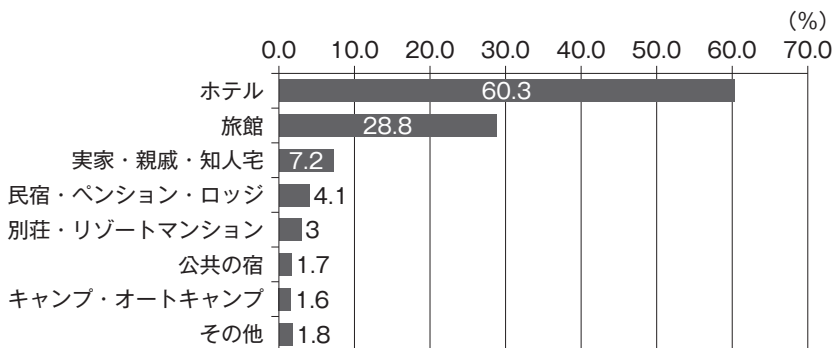
出典：『旅行年報 2019』公益財団法人日本交通公社 資料「JTBF 旅行実態調査」

■国内宿泊旅行の宿泊施設

図表 3-6 は、宿泊を伴う観光目的とした国内旅行の利用宿泊施設を表したものである。「ホテル」が全体の約 6 割を占めている。「旅館」は約 3 割となっている。近年、「ホテル」のシェアが上昇し、「旅館」のシェアの減少傾向が続いている。

しかし、日本固有の「旅館」が一定のシェアを占めていることは、国内宿泊旅行においての最大の特徴となる。日本人は旅行目的やステイケーションによって「ホテル」と「旅館」を使い分けている。

図表 3-6 国内宿泊旅行の宿泊施設（2018）



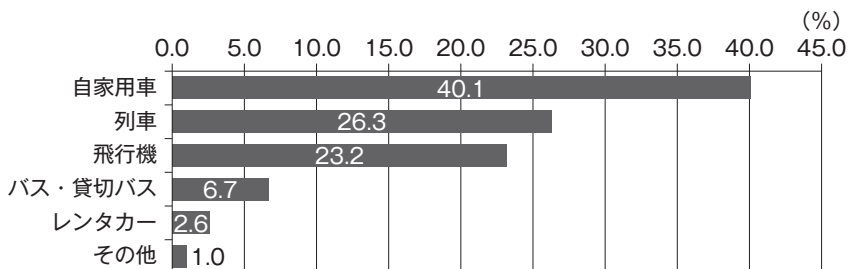
出典：『旅行年報 2019』公益財団法人日本交通公社 資料「JTBF 旅行実態調査」

■国内宿泊旅行の交通手段

目的地までの交通手段は何を利用しているのであろう。図表 3-7 は、宿泊を伴う観光目的とした国内旅行の目的地までの交通手段を表したものである。「自家用車」いわゆるマイカーでの旅が約 40% で、「列車」「飛行機」と続いている。

日本の旅行はマイカー旅行が主流であるといえる。これはマイカー普及率が高いこと、高速道路網が整備されていること、近距離の 1 泊旅行が多いことなどが理由に挙げられる。しかし、遠距離となる旅行には新幹線などの鉄道が利用され、北海道、沖縄や離島などは航空機が利用されている。また、近年は遠距離の目的地であっても低価格の長距離バスが利用されることがある。

図表 3-7 国内宿泊旅行の交通手段（2018）

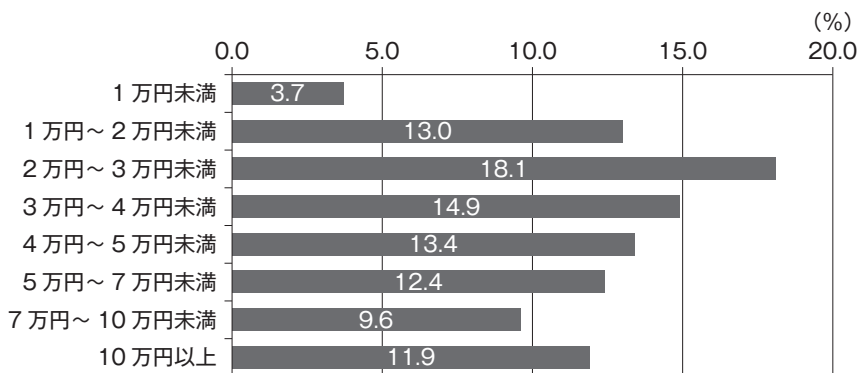


出典：『旅行年報 2019』公益財団法人日本交通公社 資料「JTBF 旅行実態調査」

■国内宿泊旅行の旅行費用

図表 3-8 は、交通費、宿泊費、飲食費、土産代などを含めた国内宿泊旅行 1 回 1 人当たりの費用である。平均旅行費用は 5 万 3,550 円（2018 年）だった。「2 万円～3 万円未満」が約 18% と一番多い。次いで「3 万円～4 万円未満」と続く。これは 1 泊旅行が多いことによるものである。一方で、「5 万円～7 万円未満」「7 万円～10 万円未満」も 1 割前後ある。また、10 万円以上のシェアも 1 割以上あり、豪華な国内宿泊旅行を楽しんでいる様子もうかがうことができる。

図表 3-8 国内宿泊旅行の旅行費用（2018）



出典：『旅行年報 2019』公益財団法人日本交通公社 資料「JTBF 旅行実態調査」

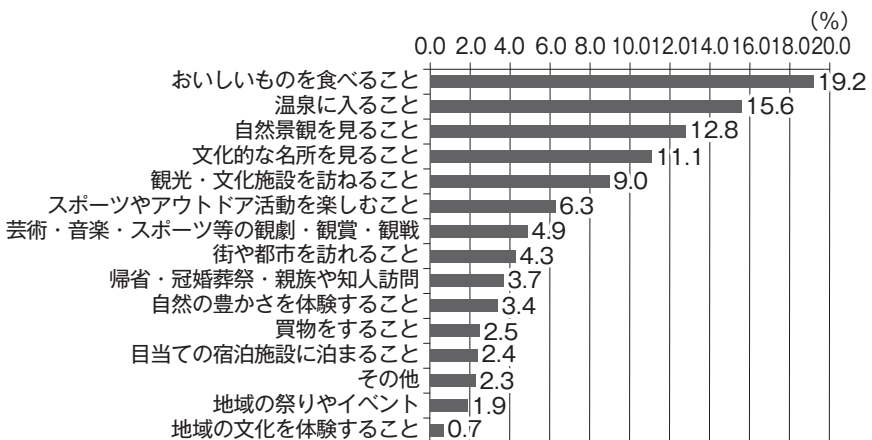
3. 国内旅行の期待と現地活動

■国内旅行の期待

図表 3-9 は、「国内旅行先の最も楽しみにしていたこと」を表したものである。「おいしいものを食べること」が第1位で2割近くいた。目的地でその地域ならではの食材、料理は旅行前の期待となっている。日頃なかなか食することができない高級料理やその土地ならではの郷土料理、その時期にしか食べられない旬な食材を使った料理、話題になっているご当地グルメやB級グルメなどである。

2位は「温泉に入ること」で、日本人の温泉志向は老若男女に幅広く根強い。3位、4位が、「自然景観を見ること」「文化的な名所を見ること」が並んでいる。これは従来からの旅行の普遍的な目的であり活動である。「スポーツやアウトドア活動を楽しむこと」が約6%あった。「買物をする事」を第一の期待とした人は少ない。

図表 3-9 国内旅行先の最も楽しみにしていたこと (2018)



出典：『旅行年報 2019』公益財団法人日本交通公社 資料「JTBF 旅行実態調査」

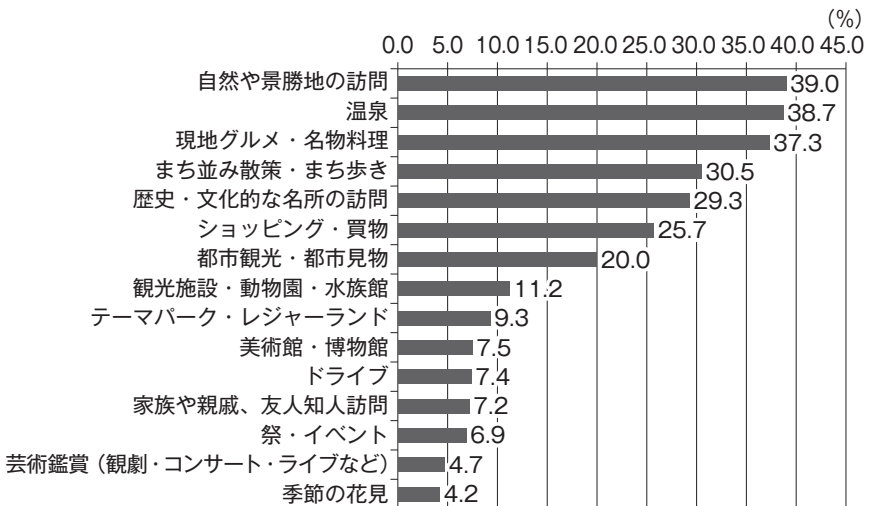
■国内旅行先の現地活動

国内旅行の旅行先で実際どのような活動をしているのであろうか。図表 3

-10 は、「国内旅行先の現地活動（複数回答）」を表したものである。「自然や景勝地の訪問」が1位で4割ほどいた。「歴史・文化的な名所の訪問」は5位で、旅先で自然に触れ、美しい景色を見ることとのほうが多かった。第2位は「温泉」で4割弱が体験している。第3位は「現地グルメ・名物料理」で、期待の「おいしいものを食べること」の実践である。

「まち並み散策・まち歩き」は3割程度ある。「ショッピング・買物」は25%程であった。「都市観光・都市見物」も20%程度あり、都市自体が観光の対象となっていることが分かる。「祭・イベント」「芸術鑑賞（観劇・コンサート・ライブなど）」「季節の花見」など季節、時期が限定的な観光の対象の体験も決して少なくない。

図表 3-10 国内旅行先の現地活動（2018）複数回答



出典：『旅行年報 2019』公益財団法人日本交通公社 資料「JTBF 旅行実態調査」

4. 国内旅行のデスティネーション

■都道府県別日本人延べ宿泊者数

国内宿泊旅行のデスティネーション（旅行目的地）となる都道府県をしてみる。観光庁の『宿泊旅行統計調査（2018）』によると、国内旅行の延べ宿

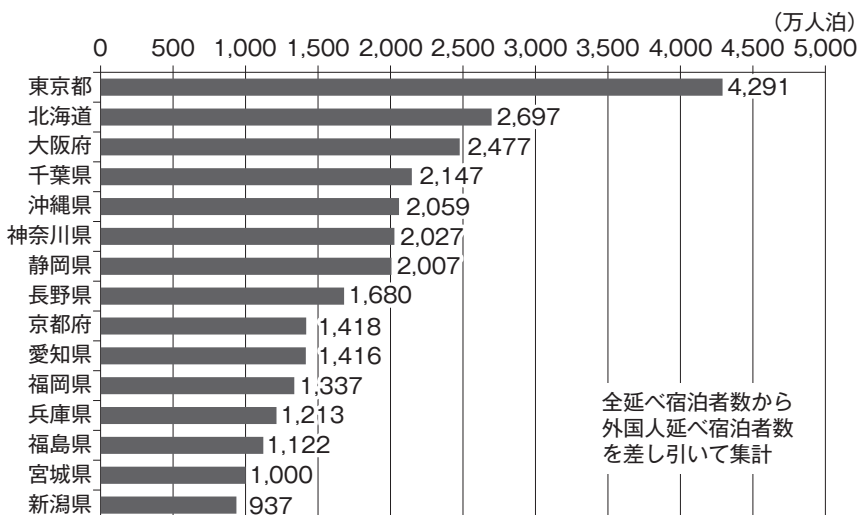
泊者数は5億3,800万人泊となっている。うち、外国人延べ宿泊者数は9,428万人泊で、毎年着実に増加している。

図表3-11は都道府県別の延べ宿泊者数の上位の都道府県を表したものである。1位は東京都が群を抜いている。この宿泊数には観光目的以外の業務目的なども含まれていることによるが、東京は都市観光の場でもある。3位の大阪府も同様である。

2位は北海道で国内最大の観光地とっていいだろう。札幌を始めとした、函館、小樽、旭川などの都市観光、他では味わうことのできない大自然、数多くの良質な温泉、新鮮な海産物など観光資源が豊富な地である。寒い冬にも雪祭りや流水などを目当てに多くの旅行者が訪れている。4位千葉県には東京ディズニーリゾートと成田空港がある。5位は沖縄県で、日本を代表する海のリゾート地であり、独特な琉球文化を残す地であり、特徴ある多くの島々がある。

6位の神奈川県は、港町横浜と古都鎌倉、箱根温泉がある。7位の静岡県は、富士山と伊豆の温泉が多くの旅行者を呼んでいる。8位長野県は、山や高原などの自然を満喫でき、温泉も多い。冬はスキーで賑わい、四季を通して個人旅行でも団体旅行でも楽しむことのできるデスティネーションである。

図表3-11 都道府県別日本人の延べ宿泊者数上位15(2018)



出典：「宿泊旅行統計調査（観光庁）」より

9位の京都府は世界的な観光都市であり、修学旅行生の宿泊も多い。10位愛知県、11位福岡県はビジネス旅行者も多いが、観光要素も充実している。以下、港町神戸、姫路城がある兵庫県、観光スポットと温泉がある福島県、宮城県、新潟県と続いている。

■国内旅行で行ってみたい旅行先

「JTBF 旅行意識調査 (2019)」(『旅行年報 2019』公益財団法人日本交通公社)によると、「今後1～2年の間に行ってみたい国内旅行の旅行先」の上位は、図表3-12のようになっている。具体的な地名を行きたい順に3つまで自由に回答してもらい、最も行きたい地域を3ポイント、2番目に行きたい地域に2ポイント、3番目に行きたい地域を1ポイントとして、その合計値をランキングしている。

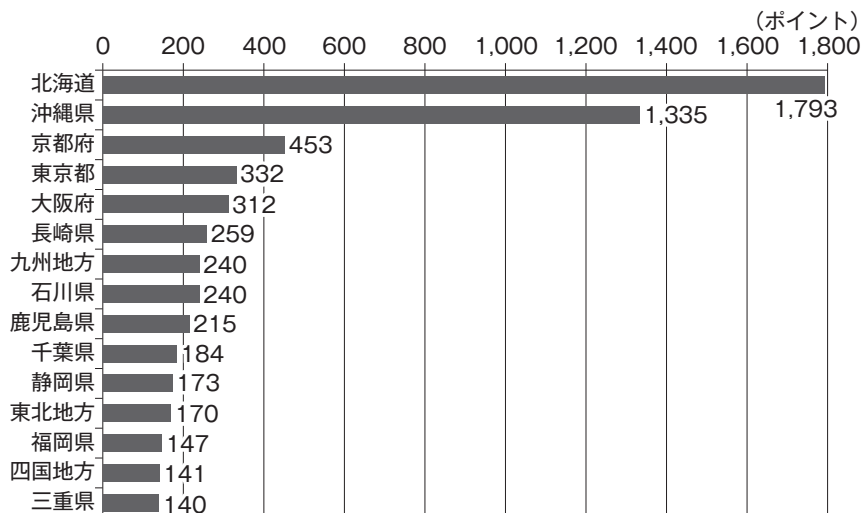
1位は北海道で、同調査で連続して首位を維持している。日本人が最も憧れを抱く観光地であることが分かる。大自然、良質な温泉、新鮮な食、雪、スキー、祭イベント等々、豊富な観光資源が広大な大地に存在している。2位は沖縄県で、北海道と並ぶ二大デスティネーションといえる。日本には数少ないマリリゾート地であり、自然が残され、琉球文化も味わうことができる。海外旅行気分が味わえるデスティネーションである。

3位は京都府で、古都京都は日本人にとって特別なデスティネーションである。リピーターも多い。4位5位は東京都、大阪府で、世界的なレベルの都市観光の場である。東京は東京スカイツリーや隣県になるが東京ディズニーリゾート (TDR)、大阪はユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) の魅力が大きい。

以下多様な観光地と温泉がある九州地方が続いている。ハウステンボスや軍艦島もある長崎県、屋久島や奄美大島を含む鹿児島県、新幹線開通で注目を集めた金沢がある石川県、TDRのある千葉県が上位に入った。

東北地方、四国地方も行きたいデスティネーションとして上位に続いているのは興味深い。富士山、伊豆の温泉の静岡県、伊勢志摩のある三重県が続いている。

図表 3-12 国内旅行で行ってみたい旅行先 (2019)



出典：『旅行年報 2019』公益財団法人日本交通公社 資料「JTBF 旅行意識調査」

■温泉

国内旅行のデスティネーションとして欠かすことができず、日本の国内旅行の特徴となっているのが温泉である。温泉は海外の国・地域にも存在するが、旅行先としてこのように国民に愛され定着している国は日本を置いて他にない。

温泉とは、地中から湧き出す湯、またはその場所、その湯を用いた入浴施設のことをいう。また、温泉法による温泉の定義は、源泉温度が摂氏 25 度以上であること、またはリチウムイオン、水素イオンなどの 19 の特定の成分が 1 つ以上規定値に達しているものである。温泉は自然の恵みというイメージがあるが、掘削技術の進んだ今、東京都心でも温泉地が次々と誕生している。

全国で温泉地の数は約 3,000 ヶ所（環境省 2018 年度データ）あり、全都道府県に分布している。日本における温泉利用の歴史は長く、神話の世界までさかのぼることができる。湯治の歴史も古く、現在の有名温泉地は湯治場から形成されたところがほとんどである。

温泉地の数の多い都道府県の上位は、①北海道、②長野県、③新潟県である。江戸時代の儒学者である林羅山が詩に詠んだ「三名泉」と呼ばれる温泉

地は、有馬温泉（兵庫県）、草津温泉（群馬県）、下呂温泉（岐阜県）である。また、歴史の長い「三古泉」（日本書紀・風土記に登場）と呼ばれる温泉地は、道後温泉（愛媛県）、有馬温泉、白浜温泉（和歌山県）である。源泉数の数から「三大温泉」と呼ばれる温泉地もある。別府温泉（大分県）、由布院温泉（大分県）、伊東温泉（静岡県）であり、いずれも多く旅行者を惹き付ける大観光地となっている。

図表 3-13 は、旅行会社などのプロが選んだ「日本の温泉地のランキング」である。1 位の草津温泉は、自噴湧出量が日本一で泉質に定評がある。名物の湯もみや温泉街の中心にある湯畑が有名である。2 位は地獄めぐりも有名な大規模温泉街を形成する別府八湯温泉、3 位は飛騨川に面した名泉、下呂温泉である。

4 位は世界でも珍しい天然砂むし温泉で有名な指宿温泉、5 位は夏目漱石の『坊ちゃん』にも登場する四国の歴史ある名湯、道後温泉。6 位は京阪神の奥座敷と呼ばれ、金泉、銀泉でも知られる歴史ある名泉、有馬温泉。7 位の登別温泉は温泉街に噴煙を上げる地獄谷が有名で、各旅館の温泉浴場の

図表 3-13 につぼんの温泉 100 選上位 20 (2018 年度)

	温泉地名	所在地
1	草津	群馬
2	別府八湯	大分
3	下呂	岐阜
4	指宿	鹿児島
5	道後	愛媛
6	有馬	兵庫
7	登別	北海道
8	和倉	石川
9	由布院	大分
10	城崎	兵庫
11	黒川	熊本
12	飛騨高山	岐阜
13	伊香保	群馬
14	山代	石川
15	玉造	島根
16	月岡	新潟
17	箱根湯本	神奈川
18	鳴子	宮城
19	塩原	栃木
20	山中	石川

※全国 2,000 余りの温泉地を対象として、旅行会社などのプロが投票
出典：「第 32 回につぼんの温泉 100 選」（主催：観光経済新聞社 2018）より

きさに驚かされる。

8位は名旅館として名高い「加賀屋」がある能登の和倉温泉。9位の由布院温泉は、良質な温泉とともにこだわりのある高級な小規模旅館が人気を集めている。10位は外湯めぐりや冬のカニ料理が楽しみな城崎温泉である。

11位の黒川温泉は、ほとんどの旅館に露天風呂があり、購入すると3カ所の露天風呂に入れるという「入湯手形」で人気を博し、落ち着いた和風旅館で温泉街を形成している。「ミシュラン・グリーンガイド」で二つ星を獲得し話題となった。以下、古い街並みや朝市が楽しめる飛騨高山温泉、長い石段の両側に旅館が並ぶ伊香保温泉、北陸の名湯山代温泉、山陰を代表する玉造温泉と続く。いずれも、それぞれの地域を代表する温泉地で年間を通して多くの旅行者を迎え入れている。



草津温泉の湯畑
筆者撮影

■街並み

国内観光のデスティネーションとして、人気があり定着しているのが「街並み観光」である。ひとつの観光スポットを見学するだけでなく、街全体を散策し五感で味わう観光を楽しんでいる。

①古都

古都とは、昔に都がおかれていた場所のことであり、日本においては、京都、奈良がその代表である。都は置かれていなかったが鎌倉もそれに含まれる。これらの街は「古都保存法」により後世に引き継ぐべき歴史的風土が残されている。それぞれ日本を代表する大観光地である（P.40参照）。

②小京都

小京都とは、古い町並みや風情が京都に似ていることから名づけられた街の愛称である。全国に20以上の小京都と呼ばれる地域がある。代表的な小京都は、「みちのくのかくの小京都・角館」「飛騨の小京都・高山」「山陰の小京都・津和野町」「安芸の小京都・竹原」「薩摩の小京都・知覧」などであり、特に女性に人気で、今も風情ある街並みが旅行者を魅了している。

図表 3-14 主な小京都

地名	呼称	所在地
角館	みちのくの小京都	秋田県仙北市
足利	東の小京都	栃木県足利市
加茂	北越の小京都	新潟県加茂市
高山	飛騨の小京都	岐阜県高山市
郡上八幡	奥美濃の小京都	岐阜県郡上市
西尾	三河の小京都	愛知県西尾市
伊賀上野	伊賀の小京都	三重県伊賀市
出石(いずし)	但馬の小京都	兵庫県豊岡市
大洲(おおず)	伊予の小京都	愛媛県大洲市
津和野	山陰の小京都	島根県津和野町
尾道	瀬戸内の小京都	広島県尾道市
山口	西の京都	山口県山口市
秋月	筑前の小京都	福岡県朝倉市
杵築(きつき)	杵築の小京都	大分県杵築市
知覧(ちらん)	薩摩の小京都	鹿児島県南九州市

出典：全国京都会議ホームページ等

③小江戸

小京都と似た言葉に「小江戸」がある。江戸との係わりが深く、江戸の風情を残す古い街並みを残している地域である。代表的な「小江戸」は埼玉県の川越で、他に栃木県の栃木宿、千葉県の佐原さわらなどがあり、首都圏からの日帰り街歩きで訪れる人が多い。

図表 3-15 主な小江戸

地名	旧国名	所在県
川越	武蔵国	埼玉県川越市
佐原	下総国	千葉県香取市
栃木	下野国	栃木県栃木市
大多喜	上総国	千葉県大多喜町
厚木	相模国	神奈川県厚木市
甲府	甲斐国	山梨県甲府市
掛塚	遠江国	静岡県磐田市
彦根	近江国	滋賀県彦根市

出典：各市町ホームページ

④宿場町

昔の宿場町を再現した街並みが人気の地域がある。旧中山道の妻籠宿、馬籠宿は1970年代から人気の観光地となっている。大内宿、海野宿、熊川宿も注目の観光スポットになっている。多くの宿場町は「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されている。それぞれ、古い建物を残すだけでなく、電柱を地中化し、舗装道路をはがし、まるで江戸時代にタイムスリップしたかのような街並みを再現している。時代劇のロケもよく行われている。

図表 3-16 歴史的景観が残る主な宿場町

宿場名	街道名	所在地
大内宿	旧会津西街道	福島県下郷町
海野宿	旧北国街道	長野県東御市
奈良井宿	旧中山道	長野県塩尻市
妻籠宿	旧中山道	長野県南木曾町
馬籠宿	旧中山道	岐阜県中津川市
関宿	旧東海道	三重県亀山市
熊川宿	旧若狭街道	福井県若狭町
五條新町	旧紀州・伊勢街道	奈良県五條市
平福宿	旧因幡街道	兵庫県佐用町
智頭宿	旧因幡街道	鳥取県智頭町

出典：重要伝統的建造物群保存地区一覧、ZEKKEI Japan HP より

⑤人気の街並み

前述以外にも特徴ある人気の街並みは日本各地にある。

運河沿いに石造りの倉庫群が並ぶ小樽運河では、クルージングを楽しむこともできる。金沢のひがし茶屋街には茶屋様式の町家が多く残る。長浜黒壁スクエアは、江戸時代から明治時代の伝統的建造物を活かして整備された街並みに各種ショップが点在する。おかげ横丁は、伊勢神宮内宮に続く明治時代初期の鳥居前町の町並みを再現したものである。舟運で栄えた時代がしのばれる白壁の街並みの倉敷美観地区はいつも旅行者で賑わっている。

赤レンガの煙突、赤瓦の屋根と白壁とが織りなす西条酒蔵通りでは、酒蔵が開放される日もある。昭和30年代の商店街を再現した昭和のまち豊後高田も散策にふさわしい。

図表 3-17 人気の街並み

街並み名	内容	所在地
小樽運河	運河と石造りの倉庫群	北海道小樽市
登米市の町並み	武家屋敷が並ぶ街	宮城県登米市
蔵の街喜多方	蔵とラーメンの街	福島県喜多方市
谷根千	谷中・根津・千駄木	東京都台東区/文京区
旧軽井沢銀座	軽井沢のメイン通り	長野県軽井沢町
ひがし茶屋街	お茶屋建の家並み	石川県金沢市
足助の町並み	白壁の土蔵の宿場町	愛知県豊田市
高山市三町	城下町の中心地	岐阜県高山市
おかげ横丁	伊勢神宮の門前町	三重県伊勢市
黒壁スクエア	古建築とガラスの街	滋賀県長浜市
ならまち	町家の建ち並ぶ街	奈良県奈良市
北野異人館街	港を見下ろす異人館	兵庫県神戸市
倉敷美観地区	白壁となまこ壁	岡山県倉敷市
竹原町並み保存地区	塩田で栄えた街並み	広島県竹原市
西条酒蔵通り	酒蔵の白壁と煙突	広島県東広島市
鞆の浦	昔の土蔵が残る港町	広島県福山市
うだつの町並み	うだつのある商家	徳島県美馬市
門司港レトロ	大正ロマン漂う建物	福岡県北九州市
昭和の町豊後高田	昭和の街並みを再現	大分県豊後高田市
壺屋やちむん通り	石畳と陶器の街	沖縄県那覇市

出典：各観光スポットホームページより

■城郭

美しい日本の城郭は、歴史ある神社、仏閣とともに大きな観光要素となってきた。近年、テレビの大河ドラマや「日本100名城」の選定などもあり、「城ブーム」と呼ばれる盛り上がりを見せている。特に若い女性はそのブームを牽引している。

確かに、遠くから見ても、近くで見ても美しい城郭の姿は日本の美を感じる。また、天守閣に登り周囲を見渡すのも楽しい。

日本の城は、かつては2万5,000以上あったといわれているが、現在は一般の人が見学できるのは再建されたものを含めて200城ほどである。そのうち江戸時代以前からの天守が現存しているのは12城だけである。

城は、江戸時代の「一国一城令」、明治時代の「廃城令」により、多く失われ、火災、地震、落雷などでも消失している。さらに戦時中の空襲などで

図表 3-18 人気の城郭

(★は天守が現存する 12 城)

城名	内容	所在地
五稜郭	星型の西洋式城郭	北海道函館市
★弘前城	日本有数の桜の名所	青森県弘前市
会津若松城	戊辰戦争で落城	福島県会津若松市
忍城	「のぼうの城」のモデル	埼玉県行田市
小田原城	難攻不落の堅城	神奈川県小田原市
★松本城	白と黒の対比が美しい	長野県松本市
名古屋城	金の鯨鯨が有名	愛知県名古屋
★犬山城	木曾川のほとりに建つ国宝	愛知県犬山市
★丸岡城	別名霞ヶ城の桜の名所	福井県坂井市
★彦根城	江戸期譜代大名井伊家の居城	滋賀県彦根市
大阪城	秀吉築城の大阪のシンボル	大阪府大阪市
★姫路城	日本の城の最高峰	兵庫県姫路市
竹田城跡	天空の城と称される	兵庫県朝来市
★備中松山城	天守閣が残る山城	岡山県高梁市
★松江城	唯一の正統天守閣といわれる	島根県松江市
★丸亀城	石垣の名城	香川県丸亀市
★高知城	天守と本丸御殿が現存	高知県高知市
★松山城	連立式天守の平山城	愛媛県松山市
★宇和島城	築城名人藤堂高虎の築城	愛媛県宇和島市
熊本城	復興のシンボル	熊本県熊本市

も失われた。日本の名城、姫路城のように天守や櫓等の主要建築物が現存しているのはまれな例といえる。

図表 3-18 は、人気の城の一覧である。全国に美しく、歴史を感じる多くの城郭がある。

■島

「島旅」という言葉があり、多くの日本人はその言葉にロマンを感じる。船や飛行機でしかいけない島旅は、確かに旅を実感でき、島によって差はあるものの自然や島独特の歴史や文化が残されていて、心癒されるものがある。海外旅行の感覚もあり、島には人に元気を与える不思議なパワーがある。

四方を海に囲まれた日本には、6,852 の島があるといわれ、そのうち約 400 島が有人島である（国土交通省）。基本的にはその有人島が観光の対象

図表 3-19 人気の島

島名	内容	所在地
利尻島・礼文島	登山の島、花の浮島	北海道利尻町・礼文町
田代島	猫神社もある猫島	宮城県石巻市
三宅島	イルカとバードウォッチングの島	東京都三宅村
父島・母島	元祖エコツーリズムの島	東京都小笠原村
佐渡島	日本海最大の離島・トキの島	新潟県佐渡市
日間賀島	大人気・多幸と福の島	愛知県南知多町
佐久島	アートを発見する島	愛知県西尾市
隠岐島	島丸ごとブランド化	島根県隠岐の島町
大久野島	瀬戸内のうさぎ島	広島県竹原市
小豆島	映画の舞台となったオリーブの島	香川県小豆島町
直島	現代アートが点在する島	香川県直島町
端島(軍艦島)	日本有数の廃墟スポット	長崎県長崎市
対馬	文化財が豊富な国境の島	長崎県対馬市
五島列島	キリスト教文化が残る島	長崎県五島市
屋久島	屋久杉ともののけ姫の森	鹿児島県久島町
奄美大島	自然と文化が共存する島	鹿児島県奄美市
与論島	のんびりロングステイしたい島	鹿児島県与論町
宮古島	海の美しいホスピタリティの島	沖縄県宮古島市
石垣島	八重山観光の拠点	沖縄県石垣市
竹富島	水牛車と星砂の浜	沖縄県竹富町

出典：『島旅宣言』（2009）・じゃらんニュース（2019）より

となる。

北海道の利尻島、礼文島、日本海の佐渡島、隠岐島、太平洋の伊豆諸島、瀬戸内海の島々、対馬や五島列島、そして、鹿児島、沖縄の南の島々、それぞれに個性がある。近年、さまざまなテーマで島の魅力が発信され、アートを楽しむ直島、ウサギと出会う大久野島、世界遺産にも登録された廃墟スポット軍艦島など、島ならではの新しい楽しみ方が増えている。

■花見

四季が豊かな日本において、欠かせないのが桜の花見である。どの地域にも桜はあり春の訪れとともに満開となり人々を楽しませる。わざわざ旅をして見たい桜の名所は日本各地にある。満開の時期が異なるため、桜前線を追いかける旅行もある。

日本各地の桜の名所は「桜まつり」等の名称で祭りやイベントが開催され、地元の人だけではなく多くの旅行者を招き入れている。また、東京国立博物館や皇居の乾通り、大阪の造幣局のように普段は一般公開されていないが花見の季節に特別公開する場所もある。近年は、夜桜見物が定着し、ぼんぼりなどを設置するだけでなく、幻想的にライトアップし夜間特別公開される名所も多い。

花見は、訪日外国人旅行者の大きな来日目的になっている。また、花見の風習がアジアや欧米に伝わっている。

図表 3-20 人気の花見スポット

花見スポット	内容	所在県
弘前公園	日本三大夜桜のひとつ、2,600本の桜	青森県
北上展勝地	桜並木のライトアップが幻想的	岩手県
角館 武家屋敷	古い街並みに400本のシダレザクラ	秋田県
白石川堤一目千本桜	堤を彩る桜のトンネル、1,200本の桜並木	宮城県
三春滝桜	ベニシダレザクラの見事な一本桜	福島県
幸手権現堂桜堤	桜のトンネルと周辺の菜の花	埼玉県
目黒川	約4kmにわたる桜並木	東京都
千鳥ヶ淵	千鳥ヶ淵緑道の桜が幻想的にライトアップ	東京都
吉野山	日本三大桜の名所のひとつ、山全体が桜	奈良県
新倉山浅間公園	桜、富士山、五重塔が見られる絶景	山梨県
高田公園	内堀と外堀に約4,000本の桜	新潟県
高遠城址公園	1,500本のタカトオコヒガンザクラ	長野県
清水寺	1,500本の桜が咲き誇る世界遺産の古刹	京都府
嵐山	渡月橋越しに見渡す絵画のような桜	京都府
竹田城跡	雲海に包まれた幻想的な光景	兵庫県
仁和寺	京都の春の終わりを告げる御室桜	京都府
哲学の道	約2kmの疏水沿いの散策道が桜道に	京都府
醍醐寺	「花の醍醐」と言われるの桜の名所	京都府
造幣局 桜の通り抜け	1週間限定で一般開放「桜の通り抜け」	大阪府
姫路城	シーズンには観桜会などが開催	兵庫県

出典：楽天トラベル「マイトリップ」サイト（2019）

■紅葉

紅葉とは、秋になって樹木の葉が落葉前に紅色や黄色に変色する現象のことで、日本の秋の観光資源である。紅葉は、高原、渓谷、標高が高い湖沼、

滝周辺に多くみられ、広い敷地や整備された庭園のある寺社や公園にも名所が多い。紅葉をめぐる習慣は平安の頃始まったといわれ、特に京都市内には紅葉の名所が多い。

これらの紅葉の名所で^{もみじ}の紅葉狩りを目的に旅行に出かける人も多い。桜前線とは逆に北海道から始まる紅葉前線を追いかける旅もある。紅葉の見頃は開始後 20～25 日程度で、時期は北海道と東北地方が 10 月、関東から九州では 11 月から 12 月初め頃である。

紅葉の名所は海外にもあるが、多くの訪日外国人旅行者は、日本の紅葉は世界で一番美しいといい、外国人旅行者の地方誘客の大きな観光資源となっている。

図表 3-21 人気の紅葉スポット

紅葉スポット	内容	所在県
筑波山	ブナをはじめとした落葉紅葉樹が色づく	茨城県
高尾山	イロハモミジが沢山見られる東京郊外	東京都
養老渓谷	紅葉を川沿いの遊歩道から楽しむ	千葉県
河口湖畔	「もみじ回廊」の巨木モミジは見事	山梨県
奥只見湖	遊覧船から美しい紅葉を堪能	新潟県
大洞院	見事な紅葉を立体的に楽しめる	静岡県
香嵐渓	約4,000本の木々が紅や黄色に染まる	愛知県
びわ湖パレイ	ロープウェイで壮大な紅葉を楽しむ	滋賀県
嵐山	大堰川の水面に映える紅葉は絶景	京都府
清水寺	奥の院からの眺めは絶景	京都府
永観堂	「もみじの永観堂」と呼ばれる紅葉の名所	京都府
東福寺通天橋	「通天紅葉」と呼ばれるカエデがある	京都府
北野天満宮	「史跡 御土居もみじ苑」の紅葉は見事	京都府
高雄山神護寺	樹齢500年以上の古木の紅葉	京都府
石清水八幡宮	男山の紅葉と常緑樹のコントラスト	京都府
高台寺	庭園が借景と共に美しく紅葉する	京都府
高野山	各所の紅葉樹が彩り美しい	和歌山県
大阪城公園	園内各所でケヤキ・イチョウ・ハゼが色づく	大阪府
大山	西日本最大のブナの原生林が色づく	鳥取県
深耶馬溪	そそり立つ岩肌にもミジなどの紅葉	大分県

出典：日本気象協会「tenki.jp」(2018)

■テーマパーク

テーマパークとは、ひとつの国の文化、物語、映画、時代などの特定のテーマをベースにして園内が構成、演出された観光施設である。日本では一般の遊園地とは区別しているが、日本以外の国においてはテーマパークと遊園地は区別されず「アミューズメント・パーク」といわれている。

テーマパークという言葉は、1983年千葉県浦安市に開業した「東京ディズニーランド（TDL）」で用いられるようになってから一般化した。それ以前でも、ひとつの統一テーマで作られた、愛知県犬山市にある博物館「明治村」（1965年開園）や京都市の「東映太秦映画村」（1975年開園）などがあり、これらが日本のテーマパークの草分けともいえる。

代表的なテーマパークは、「東京ディズニーリゾート（TDR）」である。TDRとは、TDLと「東京ディズニーシー（TDS）」を合わせたディズニーパークの総称である。入園者数は3,200万人（2018年度・TDLとTDSの合計）を超えている。名実ともに日本一の観光スポットといえよう。大阪市の「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）」、佐世保市の「ハウステンボス」とTDRで日本三大テーマパークと呼ぶことがある。

図表 3-22 代表的なテーマパーク

テーマパーク	所在地	開園年	テーマ
東京ディズニーランド	千葉県浦安市	1983年	夢・魔法
東京ディズニーシー	千葉県浦安市	2001年	海
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	大阪府大阪市	2001年	ハリウッド映画
ハウステンボス	長崎県佐世保市	1992年	中世オランダ
志摩スペイン村	三重県志摩市	1994年	スペイン
博物館明治村	愛知県犬山市	1965年	明治時代
東映太秦映画村	京都府京都市	1975年	時代劇
日光江戸村	栃木県日光市	1986年	江戸時代
サンリオピューロランド	東京都多摩市	1990年	キャラクター
琉球村	沖縄県恩納村	1982年	琉球文化

出典：『観光サービス論』（2015）

■動物園・水族館

①動物園

動物園とは、生きた動物を収集、飼育、保護、研究し、教育、観賞、レクリエーションなどの目的で公開している施設であり、通常、陸上に生息する哺乳類や鳥類を中心に扱っている。

日本で最も古い動物園は、1882年に開業した東京都台東区の上野恩賜公園内にある東京都立の「恩賜上野動物園」、通称「上野動物園」である。動物園は、現在日本全国に91施設（日本動物園水族館協会加盟・2019年）ある。近年、行動展示を実施するなどさまざまな工夫を試みた「旭川市旭山動物園」が観光スポットとなった。

②水族館

水族館とは、海や河川・湖沼などの水中や水辺で生活する生き物を収集、飼育、保護、研究し、教育、観賞、レクリエーションなどの目的で公開している施設のことである。水族館では魚類を中心にガラスやプラスチックの透明な水槽に入れ公開されている。現在日本全国に57施設（日本動物園水族館協会加盟・2019年）ある。

イルカ、アシカ、シャチなどの海獣によるショーなどを楽しむことができる水族館も多い。沖縄の「沖縄美ら海水族館」は大水槽を泳ぐジンベエザメやイルカショーが人気で、沖縄県の一大観光地となっている。

図表 3-23 代表的な動物園・水族館

	施設名	所在地	開園年	特徴
動物園	旭山動物園	北海道旭川市	1967年	行動展示で一大観光地に
	上野動物園	東京都台東区	1882年	日本で最初にできた動物園
	多摩動物公園	東京都日野市	1968年	生息地域ごとの地理学展示
	アドベンチャーワールド	和歌山県白浜町	1978年	パンダが6頭いる人気パーク
	富士サファリパーク	静岡県裾野市	1980年	日本最大級のサファリパーク
水族館	沖縄美ら海水族館	沖縄県本部町	2002年	世界最大級の大水槽「黒潮の海」が人気
	アクアマリンふくしま	福島県いわき市	2000年	展示数日本トップクラス
	鳥羽水族館	三重県鳥羽市	1955年	飼育種類数日本トップクラス
	海遊館	大阪府大阪市	1990年	日本2位の大水槽「太平洋水槽」が人気
	鴨川シーワールド	千葉県鴨川市	1970年	シャチのパフォーマンスが人気

出典：『観光サービス論』（2015）

■博物館・美術館

①博物館

博物館とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集・保管し、研究すると同時に、一般に展示・公開する施設である。日本には4,000館以上の博物館があり、公立のものと私立のものがある。日本初の博物館は1872年に創設された東京上野の「東京国立博物館」である。

博物館は、観光の対象となることが多く、「広島平和記念資料館（広島県）」、「福井県立恐竜博物館（福井県）」、「鉄道博物館（埼玉県）」、「カップヌードルミュージアム（神奈川県）」など内外の多くの旅行者が訪れる施設もある。

②美術館

美術館とは、内外、古今の美術作品などを収集・保管し、研究すると同時に、一般に展示・公開する施設であり、博物館の一種である。日本においては、明治後期に国立博物館で美術品展示が行われている。1930年に倉敷市に開設された「大原美術館」は、日本初の西洋美術中心の私立美術館である。1952年開館の「東京国立近代美術館」は近代美術を展示する日本初の国立美術館である。海外からの評価の高い美術館には外国人旅行者の来館が多い。

図表 3-24 代表的な博物館・美術館

	施設名	所在地	開館年	特徴
博物館	国立科学博物館	東京都台東区	1926年	日本の科学博物館の代表
	広島平和記念資料館	広島県広島市	1955年	「原爆資料館」とも呼ばれる平和博物館
	福井県立恐竜博物館	福井県勝山市	2000年	日本の恐竜博物館の代表
	鉄道博物館	埼玉県さいたま市	2007年	鉄道に関する博物館、愛称「てっばく」
	カップヌードルミュージアム	神奈川県横浜市	2011年	人気のインスタントラーメンの博物館
美術館	大原美術館	岡山県倉敷市	1930年	倉敷美観地区にある日本最初の近代西洋美術館
	箱根彫刻の森美術館	神奈川県箱根町	1969年	日本最初の野外彫刻美術館
	足立美術館	鳥根県安来市	1970年	近代日本画の美術館、庭園が海外でも高い評価
	三鷹の森ジブリ美術館	東京都三鷹市	2001年	ジブリ作品をテーマにしたアニメーション美術館
	金沢21世紀美術館	石川県金沢市	2004年	開放的な新現代アートの美術館

出典：『観光サービス論』（2015）

■タワー

タワーとは、塔、塔状の高層建築物のことである。その用途は、主に、電

波塔、灯台、展望台、商業施設、モニュメントなどである。遮蔽物がなく360度の眺望を楽しめる展望台は、多くの旅行者を呼ぶ観光施設となっている。日本全国、とくに大都市や港湾都市に立地し、その地のシンボル、ランドマークとなっている。観光の視点では、その特異な姿を見ることが、展望台に登り高所からの眺望を觀賞する2つの面がある。

電波塔と展望台を兼ね備えたタワーとして1954年に名古屋テレビ塔、1958年に東京タワーが開業した。2012年には、東京都墨田区に世界一高い電波塔である東京スカイツリーが開業し、東京を代表する観光スポットとなった。

図表 3-25 代表的なタワー

タワー施設	所在地	開業年	高さ	用途
東京スカイツリー	東京都墨田区	2012年	634m	電波塔・展望台
東京タワー	東京都港区	1958年	333m	電波塔・展望台
福岡タワー	福岡県福岡市	1989年	234m	電波塔・展望台
名古屋テレビ塔	愛知県名古屋市	1954年	180m	電波塔・展望台
ゴールドタワー	香川県宇多津町	1988年	158m	展望台
さっぽろテレビ塔	北海道札幌市	1967年	147m	電波塔・展望台
京都タワー	京都府京都市	1964年	131m	展望台
神戸ポートタワー	兵庫県神戸市	1963年	108m	展望台
五稜郭タワー	北海道函館市	2006年	107m	展望台
通天閣	大阪府大阪市	1956年	100m	展望台・広告塔

出典：『観光サービス論』（2015）



東京スカイツリー

■スキー場

スキー場とは、スキーやスノーボードなどをするための場所や施設のことである。スキー場にはリフトやロープウェイ、ゴンドラリフトなどがあり、それらによって山頂付近まで上り、スキーやスノーボードでゲレンデを滑り降りるスポーツの場である。また、ゲレンデに隣接する宿泊施設や温泉施設を併設しているスキー場もある。

日本における最初のスキー場は1911年に開設された五色温泉スキー場（山形県）であり、民間用にリフトが最初に設けられたのは1948年開設の草津国際スキー場（群馬県）である。

現在、スキー場は北海道から九州までの全国各地約500ヶ所に点在し、良質な雪のある北海道や長野県、新潟県、山形県などの豪雪地帯に多くある。

近年、オーストラリアやアジア諸国のスキーヤーが良質な雪を求めて、賑わいを見せるニセコスキー場（北海道）、白馬スキー場（長野県）、ガーラ湯沢スキー場（新潟県）などが話題になっている。スキー場はスキー・スノーボードともに長期的に日本人の参加人口は減少傾向にあり、市場規模は縮小傾向にある一方、訪日外国人旅行者にとっては魅力的な訪問先であり、需要拡大が期待されている。

図表 3-26 代表的なスキー場

スキー場	所在地
ニセコユナイテッド	北海道
キロロリゾート	北海道
ルスツリゾート	北海道
蔵王温泉スキー場	山形県
苗場スキー場	新潟県
舞子スノーリゾート	新潟県
GALA湯沢スキー場	新潟県
志賀高原スキー場	長野県
野沢温泉スキー場	長野県
白馬八方尾根スキー場	長野県

■農業公園・観光農園・観光牧場

①農業公園

農業公園とは、農業振興を図る交流拠点として、自然とのふれあい、農業、園芸、造園への理解と環境、食の教育を目的として、農業体験機能、レクリエーション機能などを有する場として、農林水産省の主導により全国各地に整備された施設である。農業パーク、農業のテーマパークとも呼ばれる。ドイツやデンマークなどの農村風景を模した農業公園が多く、ひとつのモデルとなっている。

②観光農園

観光農園とは、農産物の収穫体験ができる個人農家や法人が経営する農園のことである。農産物の収穫体験とは「味覚狩り」のことで、日本では歴史のあるレクリエーションである。多くの農園は、本業を農業としており副業として観光農園を営んでいるが、観光農園を専業としているところもある。

③観光牧場

観光牧場とは、放牧による畜産を営む牧場の全部または一部を一般旅行者に開放している牧場のことである。ウシ、ウマ、ヒツジなどの家畜を飼養する施設で、家畜が自由に動き回れるよう、ある程度の広さのある柵で囲った放牧場がある。日本では北海道や高原などに立地することが多い。

図表 3-27 代表的な農業公園・観光牧場

	施設名	所在地	開園年	特徴
農業公園	熊本県農業公園カントリーパーク	熊本県合志市	1991年	農業館を核として農業公園全体がストーリー性のある展示
	伊賀の里モクモク手づくりファーム	三重県伊賀市	1995年	ソーセージの手作り体験教室など、交流型の農業公園
	安城産業文化公園デンパーク	愛知県安城市	1997年	「日本デンマーク」安城市での都市と農村の交流の場
	滋賀農業公園ブルーメの丘	滋賀県日野町	1997年	ドイツの田舎町と農業をテーマにした丘陵にある農業公園
	淡路ファームパークイングランドの丘	兵庫県南あわじ市	2000年	職人自慢の食や農業体験できるコアラもいる農業公園
観光牧場	マザー牧場	千葉県富津市	1962年	鹿野山に広がる広大な敷地の観光牧場
	神戸市立六甲山牧場	兵庫県神戸市	1976年	スイスの山岳牧場を範にした高原牧場
	ハヶ岳ウエスタン牧場	山梨県北杜市	1977年	体験乗馬からウエスタン乗馬まで楽しめる観光牧場
	小岩井農場まきば園	岩手県雫石町	1991年	小岩井農場の一部が公開された観光牧場
	ノーザンホースパーク	北海道苫小牧市	1989年	馬と大地と人と絆をテーマにした観光牧場

出典：『観光サービス論』（2015）

■国立公園

国立公園とは、自然公園法に基づき、代表的な景観の地を国が指定し、自然保護や管理をし、国民の保養などに利用する自然公園のこと。1934年に

瀬戸内海国立公園、雲仙国立公園、霧島国立公園の3か所が最初の指定を受けた。現在は図表3-28のように34か所の国立公園が存在している。

自然が豊かな国立公園内には多くの旅行者が訪れ、重要な観光資源となっている。訪日外国人旅行者が訪れるようになり、改めて注目されるようになった。

所管する環境省は国立公園をナショナルパークとしてブランド化し、特に外国人旅行者を国立公園へ誘致する「国立公園満喫プロジェクト」を開始した。世界の旅行者が長期滞在したいと憧れる旅行目的地にしようというものだ。

環境省は2017年に国立公園マークを制定した。



国立公園マーク

図表3-28 日本の国立公園（2019）

国立公園	所在県	国立公園	所在県
利尻礼文サロベツ国立公園	北海道	妙高戸隠連山国立公園	新潟県・長野県
知床国立公園	北海道	白山国立公園	富山県・石川県・福井県・岐阜県
阿寒摩周国立公園	北海道	伊勢志摩国立公園	三重県
釧路湿原国立公園	北海道	吉野熊野国立公園	三重県・奈良県・和歌山県
大雪山国立公園	北海道	山陰海岸国立公園	京都府・兵庫県・鳥取県
支笏洞爺国立公園	北海道	大山隠岐国立公園	鳥取県・島根県・岡山県
十和田八幡平国立公園	青森県・秋田県・岩手県	瀬戸内海国立公園	兵庫県・和歌山県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・福岡県・大分県
三陸復興国立公園	岩手県・宮城県	足摺宇和海国立公園	愛媛県・高知県
磐梯朝日国立公園	山形県・福島県・新潟県	西海国立公園	長崎県
日光国立公園	福島県・栃木県・群馬県・新潟県	雲仙天草国立公園	雲仙県・熊本県・鹿児島県
上信越高原国立公園	群馬県・新潟県・長野県	阿蘇くじゅう国立公園	熊本県・大分県
秩父多摩甲斐国立公園	埼玉県・東京都・山梨県・長野県	霧島錦江湾国立公園	宮崎県・鹿児島県
尾瀬国立公園	群馬県・福島県・新潟県・栃木県	屋久島国立公園	鹿児島県
富士箱根伊豆国立公園	東京都・神奈川県・山梨県・静岡県	奄美群島国立公園	鹿児島県
小笠原国立公園	東京都	西表石垣国立公園	沖縄県
中部山岳国立公園	新潟県・富山県・長野県・岐阜県	慶良間諸島国立公園	沖縄県
南アルプス国立公園	山梨県・長野県・静岡県	やんばる国立公園	沖縄県

5. 地域の食と観光土産

■郷土料理

郷土料理とは、農林水産省によると「それぞれの地域独特の自然風土・食材・食習慣・歴史文化等を背景として、地域の人々の暮らしの中での創意工夫により必然的に生まれたものであり、家族への愛情や地域への誇りを持ち

ながら作り続けられ、かつ地域の伝統として受け継がれてきた調理・加工方法による料理」のことである。

美味しいものを食べに行くことは、旅行動機、旅行目的の大きな要素になっている。そのひとつがその地域でしか食べることのできない郷土料理である。図表 3-29 のように、地域を感じさせる美味しい郷土料理は、どの地域にもある。

図表 3-29 農山漁村の郷土料理百選（農林水産省）

都道府県	郷土料理	都道府県	郷土料理	都道府県	郷土料理
北海道	ジンギスカン	岐阜県	栗きんとん	岡山県	ママかり寿司
	石狩鍋		朴葉みそ	広島県	カキの土手鍋
	ちゃんちゃん焼き	静岡県	桜えびのかき揚げ		あなご飯
青森県	いちご煮	愛知県	うなぎの蒲焼き	山口県	ふく料理
	せんべい汁		ひつまぶし		岩国寿司
岩手県	わんこそば	三重県	味噌煮込みうどん	徳島県	そば米雑炊
	ひつまみ		伊勢うどん		ぼうぜの姿寿司
宮城県	ずんだ餅	新潟県	てこね寿司	香川県	讃岐うどん
	はらこ飯		のっぺ		あんもち雑煮
秋田県	きりたんぼ鍋	富山県	笹寿司	愛媛県	宇和島鯛めし
	稲庭うどん		ます寿し		じゃこ天
山形県	いも煮	石川県	ぶり大根	高知県	かつおのたたき
	どんがら汁		かぶら寿し		血鉢料理
福島県	こづゆ	福井県	治部煮	福岡県	水炊き
	にしんの山椒漬		越前おろしそば		がめ煮
茨城県	あんこう料理	滋賀県	さばのへしこ	佐賀県	呼子イカの活きづくり
	そばろ納豆		ふなずし		須古寿し
栃木県	しもつかれ	京都府	鴨鍋	長崎県	卓袱料理
	ちたけそば		京漬物		貝雑煮
群馬県	おつきりこみ	大阪府	賀茂なすの田楽	熊本県	馬刺し
	生芋こんにゃく料理		箱寿司		いきなりだご
埼玉県	冷汁うどん	兵庫県	白みそ雑煮	大分県	からしれんこん
	いが饅頭		ぼたん鍋		プリのあつめし
千葉県	太巻き寿司	奈良県	いかなごのくぎ煮	宮崎県	ごまだしうどん
	イワシのごま漬		柿の葉寿司		手延べだんご汁
東京都	深川井	和歌山県	三輪そうめん	鹿児島県	地鶏の炭火焼き
	くさや		鯨の竜田揚げ		冷汁
神奈川県	へらへら団子	鳥取県	めはりずし	鹿兒島県	鶏飯
	かんこ焼き		かに汁		きびなご料理
山梨県	ほうとう	島根県	あごのやき	沖縄県	つけあげ
	吉田うどん		出雲そば		沖縄そば
長野県	信州そば	岡山県	しじみ汁		ゴーヤーチャンプルー
	おやき		岡山ばらずし		いかすみ汁

■御当地人気料理

農山漁村との関係は薄いものの、地域住民にご当地自慢の料理として広く愛されている料理 23 品目も、「農林水産省選定・郷土料理百選」とは別枠で「御当地人気料理特選」として選定されている。いわゆる、ご当地グルメ、B 級グルメと呼ばれるものも入っており、伝統的な郷土料理以上に旅行者を引きつけるものもある。



宇都宮餃子

これらの地域の食は、確実に旅行者を呼ぶ観光資源の地位を得ている。

図表 3-30 御当地人気料理（ご当地グルメ）特選（農林水産省）

都道府県	御当地人気料理	都道府県	御当地人気料理	都道府県	御当地人気料理
北海道	うに・いくら丼	埼玉県	やきとん	広島県	広島風お好み焼き
	スープカレー	東京都	もんじゃ焼き	福岡県	明太子
岩手県	盛岡冷麺	神奈川県	よこすか海軍カレー	長崎県	ちゃんぽん・皿うどん
	盛岡じゃじゃ麺	静岡県	富士宮やきそば		佐世保バーガー
宮城県	牛タン焼き	大阪府	お好み焼き	熊本県	太平燕(タイピーエン)
秋田県	横手やきそば		たこ焼き	宮崎県	チキン南蛮
栃木県	宇都宮餃子	兵庫県	明石焼き	鹿児島県	黒豚のしゃぶしゃぶ
群馬県	焼きまんじゅう		神戸牛ステーキ		

■駅弁

駅弁とは、鉄道駅や列車内で販売されている鉄道旅客向け弁当のことである。駅弁の基本は、ごはんと地域ならではの食材を含めた魚や肉、野菜のおかずがセットになっている。衛生面から、あえて冷ましてから詰め、冷めても美味しく食べられる味つけや調理方法で作られるのが特徴である。諸説はあるが、1885 年に栃木県の宇都宮駅で販売されたおにぎりが最初であるといわれている。

目当ての駅弁を購入し列車内で食べることを楽しみに旅行する人は多く、駅弁自体も観光資源となっている。

また、空港で販売している「空弁」、ネクスコ中日本の高速道路サービスエリアの「速弁」など、駅弁に類する商品も開発されている。

図表 3-31 人気の駅弁

駅弁名	販売地域	駅弁名	販売地域
いかめし	北海道森駅	崎陽軒 シウマイ弁当	神奈川県横浜駅
網焼き牛たん弁当	宮城県仙台駅	ますのすし	富山県富山駅
牛肉どまん中	山形県米沢駅	稲荷寿司	愛知県豊橋駅
だるま弁当	群馬県高崎駅	近江牛めし	滋賀県草津駅
峠の釜めし	群馬県横川駅	かしわめし	福岡県折尾駅

■伝統工芸品

伝統工芸品とは、地域の自然や暮らしを背景に、長く日常生活で使われ、手工業で伝統的な技法により、伝統的な原材料を主に使用し作られたものである。日本各地には多様な伝統工芸品があり、その生産工程を見学することができる。旅行者を呼ぶ大きな観光資源となっている。また、その土地ならではの土産品として購入されることも多い。図表 3-32 は、「経済産業大臣指定伝統工芸品」のうち、観光資源として定着しているものである。

図表 3-32 代表的な伝統工芸品

都道府県	伝統工芸品	都道府県	伝統工芸品
岩手県	南部鉄器	山形県	天童将棋駒
福島県	会津塗	新潟県	小千谷縮
石川県	輪島塗	栃木県	益子焼
埼玉県	岩槻人形	千葉県	房州うちわ
東京都	江戸切子	神奈川県	箱根寄木細工
岐阜県	一位一刀彫	滋賀県	信楽焼
京都府	西陣織	兵庫県	播州そろばん
岡山県	備前焼	広島県	熊野筆
山口県	萩焼	香川県	丸亀うちわ
福岡県	博多人形	佐賀県	伊万里焼
熊本県	山鹿灯籠	沖縄県	琉球紅型(びんがた)

出典：「経済産業省指定伝統工芸品」より選定

【調査概要】

『旅行年報 2019』（公益財団法人日本交通公社 2019）

「JTBF 旅行実態調査」

調査対象：全国 16 歳～ 79 歳旅行を実施した人 調査方法：ウェブ調査

調査時期：2018 年 5・7・10 月 / 2019 年 1 月、回答者：6,328 人

「JTBF 旅行意識調査」

調査対象：全国 16 歳～ 79 歳の男女 調査方法：郵送自記調査

調査時期：2019 年 5～6 月、回答者：1,491 人